

金融・証券教育支援活動概況
(平成26年度事業実績等)

平成27年5月

日本証券業協会
金融・証券教育支援本部

日本証券業協会の普及・啓発推進体制

日本証券業協会の機能・役割と普及・啓発事業

日本証券業協会（以下「本協会」）（※１）は、協会の行う有価証券の売買その他の取引等を公正かつ円滑ならしめ、金融商品取引業の健全な発展及び投資者の保護に資することを目的として事業を推進しており、この目的を達成するための事業の一環として、金融商品及び金融指標並びに金融商品市場に関する知識の普及及び啓発に係る業務を行っています。

（※１）本協会は、金融商品取引法に基づく認可金融商品取引業協会であり、金融に係る知識の普及、啓発活動及び広報活動を通じて、金融商品取引業の健全な発展及び投資者の保護に努めなければならないとされています（金融商品取引法第 77 条の 4）。

普及・啓発の推進体制

金融に係る知識の普及・啓発活動については、本協会の理事会から権限を委任されている金融・証券教育支援委員会（※２）の実施機関である金融・証券教育支援本部（※３）が分掌しており、証券知識普及プロジェクト（※４）参加団体等と連携を図りつつ活動を行っています。

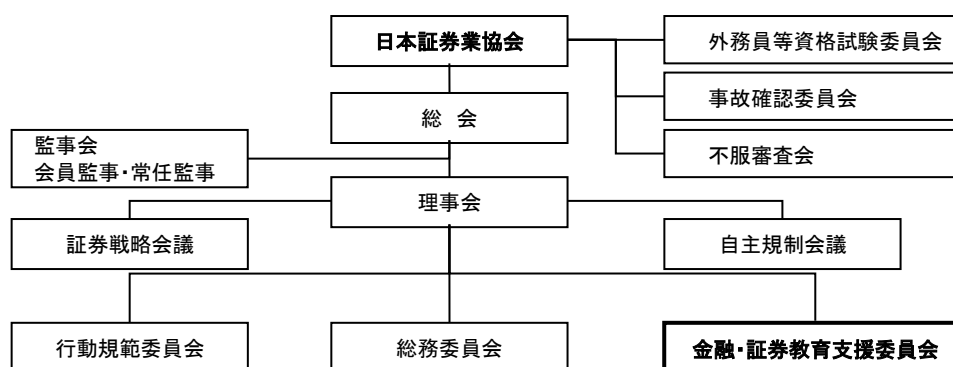
（※２）金融・証券教育支援委員会は、本協会の定款に基づき、理事会より、金融商品及び金融指標並びに金融商品市場に関する知識の普及及び啓発を図る業務に係る事項を決議する権限を委任されています。

【注】平成 23 年 7 月、それまで本協会の附属機関として位置付けてきた金融・証券教育広報委員会を、理事会から権限を委任される位置付けに変更するとともに、金融・証券教育の普及・啓発活動に特化した「金融・証券教育支援委員会」と改め、より中立・公正な観点から、金融・証券教育への支援を推進する組織・体制を構築しました。

（※３）金融・証券教育支援本部（以下「当本部」）は、中立かつ公正な立場から金融商品及び金融指標並びに金融商品市場に関する知識の普及及び啓発を行うために、金融・証券教育支援委員会の実施機関として設置されています。なお、当本部は支部を置くことができ、各地区に支部が設置されています。

（※４）証券知識普及プロジェクトは、平成 13 年 2 月に創設された「証券知識啓発 5 団体プロジェクト」を発展的に名称変更したものであり、中立かつ公正な立場から長期的・継続的に証券知識の普及・啓発を図ることを目的に、学校における金融経済教育に役立つ各種学習教材の提供や一般消費者向けのセミナー・講演会の開催等、多岐にわたり活動しています。現在の参加団体は、本協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会及び名証取引参加者協会の 9 団体です。

本協会の主要会議体



金融・証券教育支援本部の事業項目

当本部の事業項目は下表のとおりです。

事業項目	事業の種類
1. 学校向け普及・啓発事業	—
(1) 教材の開発・提供	証券知識普及プロジェクトによる 共同事業/関係団体との連携事業
(2) 「土曜学習」等への講師派遣	協会単独事業
(3) 教育関係者及び児童・生徒向けの情報提供等	証券知識普及プロジェクトによる 共同事業/協会単独事業
(4) 教員向け支援事業	協会単独事業
(5) 大学生向け支援事業等	〃
(6) 国際的な投資教育活動への参画	〃
(7) 「金融経済教育を推進する研究会」の運営	〃
2. 一般向け普及・啓発事業	—
(1) 金融リテラシー習得講座の開催	協会単独事業
(2) 若年層女性向けセミナーの開催	証券知識普及プロジェクトによる 共同事業
(3) シニアのための金融知識セミナーの開催	協会単独事業
(4) 「投資の日」記念イベントの開催及び普及推進活動	証券知識普及プロジェクトによる 共同事業
(5) 刊行物制作	協会単独事業
(6) インターネットによる情報提供	証券知識普及プロジェクトによる 共同事業/協会単独事業
3. その他事業	関係団体との連携事業

1－(1) 教材の開発・提供

体験型教材「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」(中学校向け)

<http://www.jsda.or.jp/manabu/curriculum/mrx.html>

「証券知識普及プロジェクト」活動の一環として、主に中学校を対象に、金融や経済の仕組みと働きについて、関心と理解を深めながら学べる体験型教材「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」を提供しています。本教材は経済の主体の1つである会社に視点をあて、金融・経済の基礎的な知識を身につけられるよう構成するとともに、グループワークを通じて自分の考えを表現し、他者とのコミュニケーションを図れるように工夫しています。

平成26年度は全国292校、生徒・学生数にして28,231名へ教材提供を行いました。また本教材の一層の普及・推進の目的で、教材を活用した授業の流れ等を解説した教員用動画コンテンツ(DVD)を提供しています。



◆「株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～」教材一式

◆教員用動画コンテンツ

体験型教材「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」(高等学校向け)

<http://www.jsda.or.jp/manabu/curriculum/tobira.html>

「証券知識普及プロジェクト」活動の一環として、主に高等学校を対象に「株式会社」、「金融」、「外国為替・金利・景気」を分かりやすく学べる、体験型教材「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」を提供しています。本教材は、金融の基本的な仕組みを理解し、身の回りの出来事やニュースと金融を関連付けて考え、自分の意見が持てるようになることを学習の目標としています。公民的分野のカリキュラムに配慮して、1つのテーマについて1時限(50分)で完結するものとなっており、教育現場で無理なく導入することが可能です。

平成26年度は全国286校、生徒・学生数にして24,844名へ教材提供を行いました。また、本教材は、公益財団法人消費者教育支援センターが実施している第9回「消費者教育教材資料表彰」の実験実習キット部門で優秀賞を受賞しています。なお、本教材の一層の普及・推進の目的で、教材を活用した授業の流れ等を解説した教員用動画コンテンツ(DVD)を制作し、提供しています。



◆「ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう」教材

株式学習教材「株式学習ゲーム」(中学校・高等学校向け)

<http://www.ssg.ne.jp/>

(株)東京証券取引所と共同で、主に中学校・高等学校を対象に、株式の模擬売買によって投資という経済行為を疑似体験することによって、生きた経済の姿を知り、その動きや社会の仕組みを学習する「株式学習ゲーム」を提供しています。平成26年度は全国830校から生徒・学生数にして35,480名に参加いただきました。

また、株式学習ゲームを実施した学校の生徒や教員を対象とした感想文・小論文を毎年募集しており、平成26年度は感想文1,355点、小論文13点の応募がありました。そのうち、入賞者として、生徒15名(中学生7名、高校生8名)及び教員6名に対し表彰を行いました。



◆「株式学習ゲーム」教材一式



◆「株式学習ゲーム」

1－(2)「土曜学習」等への講師派遣

体験型教材「チャレンジ！お菓子の株式会社」を使用した講師派遣

<http://www.jsda.or.jp/manabu/jugyousien/>

小学校・中学校における金融経済教育の拡充・推進の一環として、お菓子会社の商品開発と資金調達の体験学習を通じて、株式会社の仕組み等を学べる学習プログラム「チャレンジ！お菓子の株式会社」を使用した本協会の役職員による出前授業を行っています。この取り組みは、文部科学省が推進する「土曜日教育ボランティア運動」に賛同して行うものであり、同省の「土曜日教育ボランティア応援団」にも登録しています。

平成26年度は、小学校・中学校あわせて18校36クラスの「土曜学習」等に講師を派遣しました。派遣実績を本協会ホームページ上に掲載しています。



◆「チャレンジ！お菓子の株式会社」を使用した授業の様子

1－（3）教育関係者及び児童・生徒向けの情報提供等

金融経済教育のウェブサイト「金融経済ナビ」

<http://www.kinyu-navi.jp/>

「証券知識普及プロジェクト」活動の一環として、中学校及び高等学校の教員・生徒向けの金融経済教育のための Web サイト「金融経済ナビ」を提供しています。

生徒向けには証券や金融について学ぶことができる「まなぼう！金融経済」（マンガやクイズによる基本知識の講義）や「ウォーキング in 金融経済タウン」（諸機関の解説）、動画「熱血！ケーザイ家族!!」といったコンテンツを設けています。教育関係者向けには、上記の教材を授業に取り入れるための手引きや、証券知識普及プロジェクトが提供する教材やイベントに関する情報コーナー等を設けています。

なお、本教材は、公益財団法人消費者教育支援センターが実施している第8回「消費者教育教材資料表彰」の Web サイト部門で優秀賞を受賞しています。



◆「金融経済ナビ」



◆レインボーニュース表紙
(第27号)

教育関係者向け情報の提供

<http://www.kinyu-navi.jp/textbook/contents4/>

「証券知識普及プロジェクト」活動の一環として、金融経済教育の必要性、提供している教材の有用性等を広く教育現場にアピールするため、教育関係者向け情報誌「レインボーニュース」を年3回刊行しています。著名人の対談や授業で使える経済コラム、教員の授業実践リポート、企業訪問記など、学校の授業に役立つ内容となっています。



◆イベントの様子（四国会場）

児童・保護者等向けセミナー・見学会

本協会独自の活動として、小学生及びその保護者を対象に、金融・証券の仕組み等の理解を促進するため、施設見学や証券に関する学習教室を盛り込んだイベントを夏休み等に行っています。

平成26年度は、大阪、四国のそれぞれで開催し、児童・保護者合わせて140名に参加いただきました。

1－（４）教員向け支援事業



◆講義の様子

教育管理職セミナー

http://www.jsda.or.jp/manabu/seminar/principal_seminar.html

学校運営責任者及び教育管理職の方を対象として、学校における金融経済教育の必要性への理解を深めてもらうとともに、金融経済教育の導入を促進することを目的に、「教育管理職セミナー」を開催しています。

平成 26 年度は 10 月に東京で開催し、84 名に参加いただきました。また、セミナーの内容について、講義録を作成し、本協会ホームページ上に掲載しています。

社会科・公民科等担当教員向け 金融経済夏期セミナー

http://www.jsda.or.jp/manabu/seminar/teacher_seminar.html

毎年夏休み期間に、中学校・高等学校の公民科・社会科等の教員を対象として、学校における金融経済教育の充実を図るため、「金融経済夏期セミナー」の開催及び開催協力を行っています。学校の授業の指導内容に即したタイムリーな情報を提供し、今後の授業に役立ててもらうことを目的に、最近の経済及び金融・資本市場の動向と課題等に関する講義に加え、企業施設の見学等を実施しています。他団体との共催を含め、平成 26 年度は全国 9 会場で開催し、577 名に参加いただきました。また、講義の一部を録画・編集し、本協会ホームページ上に掲載しています。



◆企業施設見学の様子（東京会場）



◆取引所施設見学の様子

教員向け金融・証券体験プログラム

http://www.jsda.or.jp/manabu/seminar/teacher_internship.html

証券に興味を持つ中学校・高等学校の教員等を対象に、証券の基本に関する講義、提供教材の実習や取引所施設の見学などを通じて、証券業界に対する理解を深めてもらうことを目的に、「教員向け金融・証券体験プログラム」を開催しています。

平成 26 年度は、東京（2 日間コース）、大阪（1 日コース）、名古屋（2 日間コース）でそれぞれ 1 回開催し、143 名に参加いただきました。

教員による金融経済教育研究活動への支援

http://www.jsda.or.jp/manabu/research_society/independent_society.html

中学校・高等学校の教員等が集まり、主に金融・経済分野に関する自主的な研究を行う教員研究会への支援活動を行っています。

平成 26 年度は大阪で 8 回・名古屋で 7 回、講習会や見学会を開催し、452 名の教員に参加いただきました。

1－（５）大学生向け支援事業等

金融リテラシー出前講座

http://www.jsda.or.jp/manabu/gakusei/u_demae.html

大学生を対象に、経済・金融・資産運用の基本を身に付け、経済的に自立した社会人になってもらうことを目的に、全国各地の大学に本協会役職員を講師として派遣する「金融リテラシー出前講座」を実施しています。

平成 26 年度は、大学の教員やキャリアセンター等と協力しながら、金融リテラシーや証券市場・証券会社の役割等をテーマとして、全国 31 大学（40 講座）に講師を派遣しました。派遣実績を本協会ホームページ上に掲載しています。



◆講義の様子（青山学院大学）



◆グループワークの様子

大学生のための証券・金融セミナー

<http://www.jsda.or.jp/manabu/seminar/financeseminar.html>

大学生を対象に、証券投資や確定拠出年金の基礎知識、投資の意義（社会的責任投資）や証券市場の役割等について、より幅広く学ぶ機会を提供するため、「大学生のための証券・金融セミナー」を東京で開催しています。

平成 26 年度は、証券会社の業務に関する講義や、金融経済に関する興味・関心を深めてもらうためのグループワークを取り入れ、173 名に参加いただきました。また、講義の一部を録画・編集し、本協会ホームページ上に掲載しています。

パーソナルファイナンスセミナー

<http://www.jsda.or.jp/manabu/seminar/20120112163435.html>

社会人入りを控えた大学生や新社会人を対象に、金融リテラシーを有する自立した社会人を養成することを目的として、「パーソナルファイナンスセミナー」を開催しています。

平成 26 年度は、開催地を東京・大阪・名古屋の 3 都市に拡大し、232 名に参加いただきました。また、講義の一部を録画・編集し、本協会ホームページ上に掲載しています。



◆講義の様子（東京会場）



◆証券ゼミナール大会の様子

「証券ゼミナール大会」の開催支援等

http://www.jsda.or.jp/manabu/research_society/shougakuren.html

大学生の証券研究サークルの全国組織である「全日本証券研究学生連盟」の活動に対する支援を継続的に実施しています。同連盟の最大のイベントで毎年 12 月に開催される「証券ゼミナール大会」には、平成 26 年度は全国 33 大学、691 名に参加いただきました。

また、地区別（東京、大阪、名古屋）の証券研究学生連盟が開催する春季・秋季セミナー等の開催も支援しています。

1－（6）国際的な投資教育活動への参画

投資家教育国際フォーラム(IFIE)との連携強化

投資家教育国際フォーラム（International Forum for Investor Education）の諮問委員会メンバーとして、同フォーラムが主催する国際会議等において各国の関係機関と積極的に情報交換・議論等を行っています。

平成 26 年度は、5 月にアメリカ・ワシントンで開催された投資家教育に関するコンファレンスに参加しました。同会議において、本協会の稲野会長が IFIE アジア地域支部の議長に選任されました。

この他、12 月にインド・ムンバイで開催された第 8 回インド ナショナル証券取引所参加者協会（ANMI）国際コンベンションにおいて基調講演を行ったほか、パネル・ディスカッション「金融リテラシー：よりよい明日へのステップ」に参加し、金融・証券教育に関する IFIE の取組み及び日本の事例について紹介しました。



◆議長就任時の挨拶映像

1－（7）「金融経済教育を推進する研究会」の運営

金融経済教育を推進する研究会

<http://www.jsda.or.jp/manabu/kenkyukai/>

教育と金融の専門家が一堂に会し、金融経済教育の推進等について議論を行う場として「金融経済教育を推進する研究会」の活動を平成 25 年度から支援し、事務局を務めています。

今後、2 年間の検討の成果として報告書を取りまとめ、その内容に基づき、文部科学省 中央教育審議会に対して、次期学習指導要領の改訂についての要望書を提出する予定です。

本研究会には、下部組織として教材制作部会が設置されており、研究会での検討を踏まえて金融経済教育の考えを具体

化したモデル教科書及び学習指導案等を作成し、それらを使用したパイロット授業を中学校・高等学校で計 10 回実施しました。



◆研究会での議論の様子

中学校・高等学校における金融経済教育に関する実態調査

金融経済教育に関する教育現場の現状及び教員の認識・取組み状況等を調査し、「金融経済教育を推進する研究会」の基礎資料とするため、平成 25 年 12 月から 26 年 1 月にかけて、全国の中学校・高等学校の社会科・公民科等の教員を対象に郵送によるアンケート調査を実施し、4,462 通の回答を得ました。

平成 26 年度は、その集計・分析結果を報告書にとりまとめ、本協会ホームページ上に掲載しました。この内容については、テレビ・新聞等でも取り上げられました。

2－（１）金融リテラシー習得講座の開催

平成 26 年 1 月にスタートした NISA（少額投資非課税制度）により、新たに NISA 口座を開設し、市場に参加される投資知識・経験の浅い個人投資家への金融・証券知識の普及・啓発は急務であることなどを踏まえ、ライフプラン・マネープランの重要性、NISA の解説、投資におけるリスクの理解、資産形成商品の解説などを取り入れた金融リテラシー向上のための講座を全国展開しました。初年度である平成 26 年度は全国 20 会場（6 月～7 月に 8 会場、11 月～平成 27 年 1 月に 12 会場）で開催し、1,001 名に参加いただきました。



◆講座の様子

本講座の内容を広く周知するために特設サイトを開設し、講座の模様をオンデマンド配信しました。

2－（２）若年層女性向けセミナーの開催



◆東京会場（丸ビルホール）／
「オトナ女子のマネー美人レッスン
～未来のワタシへの投資、
ちゃんとできてる？～」
【出演者】山口 京子氏（FP）、
福田 萌氏（タレント）

現役若年世代の働く女性を対象として、東京、大阪でセミナーを開催し、733 名に参加いただきました。

東京では 2 日間開催し、1 日目の「基礎編」ではライフプラン・マネープラン、資産運用の重要性を理解し、2 日目「実践編」で NISA が使える金融商品等の解説に加え、NISA を利用した資産運用について学べる企画としました。大阪では、ライフプラン・マネープランに応じた資産形成の重要性、NISA の利用と株主優待の魅力について学ぶ企画としました。後日、両セミナーの模様についてオンデマンド配信しました。

2－（３）シニアのための金融知識セミナーの開催

一般消費者、特に高齢者及びその家族等周囲の方を対象として、金融リテラシーを高めることにより、投資詐欺や金融トラブルに巻き込まれることを未然に防止することを目的に、東京都消費生活総合センター及び東京都金融広報委員会と共催で、シニアのための金融知識セミナーを東京で 2 回開催し、338 名に参加いただきました。



◆東京都多摩消費生活センター



◆東京証券会館ホール

2－（４）「投資の日」記念イベントの開催及び普及推進活動

本協会では、平成8年に10月4日を「投資の日」に制定して以来、「証券知識普及プロジェクト」活動の一環として、一般市民の金融リテラシーの向上を図るため、毎年全国で「投資の日」記念イベントを開催しています。

「投資の日」記念イベント（各地区における講演会・トークショー等）

9月15日から11月15日にかけて、全国9地区19会場で「投資の日」（10月4日）記念イベントを開催しました。イベントでは、特に、NISA（ニーサ）をテーマに掲げ、現在の国内外の経済・金融動向やライフプラン・マネープラン等をテーマとする講演会やトークショー及び未公開株勧誘への注意喚起に関するお知らせ等を行い、5,770名に参加いただきました。

◆平成26年10月4日（土）【昼の部】

東京国際フォーラム ホールC



講演／「日本経済の展望 これからの若者たちへ」
竹中 平蔵氏（慶應義塾大学総合政策学部教授・
グローバルセキュリティ研究所所長）



トークショー／「NISA 元年記念

生活スキルとしての金融リテラシーは
本当に必要なのか？！

～世界と日本における投資教育の違い～

【司 会】内藤 忍氏（（株）資産デザイン研究所 代表取締役社長）

【ゲスト】イアン・ムーア氏（俳優）、段文凝氏（文化人）、
アイク・B・ヌワラ氏（芸人）

◆平成26年10月4日（土）【夜の部】

東京国際フォーラム ホールC



講演／「当面の投資環境と運用戦略」
藤戸 則弘氏（三菱UFJモルガン・スタンレー証券（株）
参与・投資情報部長）



トークショー／「NISA 元年記念

これからのマネープラン・投資のポイント

～金融経済情勢を見極めた商品選択が重要？！～

【モデレーター】曾根 純恵氏（フリーアナウンサー）

【出演】藤戸 則弘氏、木村 佳子氏（資産運用アドバイザー）、
井村 俊哉氏（芸人）

NISA コーナーの設置

全国各地のイベント会場（13 会場）のロビー等において、NPO 法人エイプロシスの証券カウンセラーを配置した「NISA コーナー」を設置し、中立・公正な立場から NISA や金融商品に関する質問・照会（235 件）に応じました。



◆NISA コーナーの様様

平成 26 年度「投資の日」記念イベントへの参加状況

地 区	会場数	参加者数
東 京	2 会場	1,937 名
大 阪	1 会場	960 名
名古屋	4 会場	739 名
北海道	2 会場	614 名
東 北	1 会場	222 名
北 陸	3 会場	346 名
中 国	2 会場	399 名
四 国	3 会場	304 名
九 州	1 会場	249 名
合 計	19 会場	5,770 名

未公開株勧誘への注意喚起に関する周知活動

投資家保護のための周知活動として未公開株勧誘に関する注意喚起リーフレットを全国各地の普及・啓発イベント（18 会場）で配布するとともに、未公開株等の勧誘被害の状況や手口等の説明による注意喚起のお知らせを行いました。

特に「投資の日」記念イベント東京会場（夜の部）では、投資詐欺の手口などについて、より楽しく学んでもらうために「落語のできるアイドル」による落語口演形式の投資詐欺被害防止の注意喚起を行いました。



◆口演の様様

「投資の日」記念イベントPRの実施

東京（有楽町、新橋）、大阪地区、名古屋地区、北陸地区、中国地区における 6 会場にて、「投資の日」記念イベント事前 PR を実施しました。特に大阪地区及び名古屋地区では、地区協会員等の協力を得て実施しました。



◆PR の様様

「投資の日」に関する特集記事広告・リーフレット

10月4日「投資の日」当日の日本経済新聞において、金融リテラシーの重要性に関する協会長インタビュー記事を掲載しました。

また、投資に関心の低い層に対して効果的に「投資の日」をPRするため、大喜利に見立てた広告を日本経済新聞及び読売新聞に掲載しました。

「投資の日」及び「投資の日」記念イベントを広く一般にPRするとともに、投資に関心の低い層へも興味をもってもらうためのリーフレットを作成し、協会員を通じて広く一般への配布の協力を依頼しました。協会員108社の協力を得て、140,800枚を配布しました。



◆日本経済新聞（見開き10段（片面5段、片面5段） 10月4日掲載）



◆読売新聞（全7段 10月4日掲載）

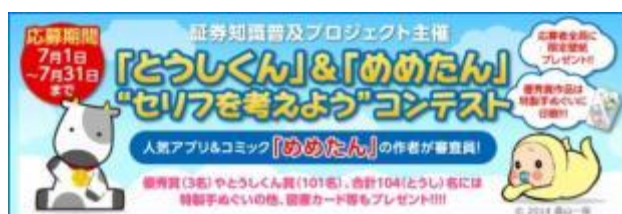


◆「投資の日」記念イベント「とうしくんうちわ」型リーフレット

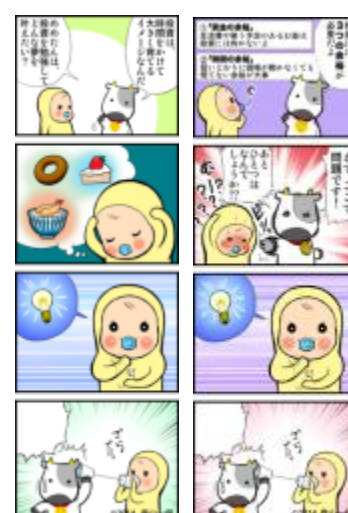
“セリフを考えよう” コンテストの実施

投資に関心の低い層に対する興味・関心の喚起を図るため、一般の方の参加企画として、人気スマホアプリの「めめたん」を用いて、金融リテラシーに関する1コマ又は4コママンガにセリフを入れてもらう“セリフを考えよう”コンテストを実施し、531件の応募がありました。

応募作品のうちから、優秀賞を選出するとともに、同作品を印刷した特製手ぬぐいを作成し、「投資の日」記念イベント会場にて当日アンケートに回答された方全員にプレゼントしました。



◆お題A「窓口にて」



◆お題B「夢」 ◆お題C「3つの余裕」



◆特製手ぬぐい

「投資の日」記念イベント特設サイト

本協会ホームページ内に「投資の日」記念イベント特設サイトを開設し、「投資の日」記念イベントに関する告知及びPR、各イベント申込サイトへの誘導を行いました。



掲載内容：

- ・全国イベント案内
- ・スマートな大人とは？
- ・投資のススメ
- ・証券会社・金融機関主催セミナー
- ・“セリフを考えよう” コンテスト
- ・ハマカーンの資産運用劇場
- ・アプリ「投資道場」
- ・+YOU（東京証券取引所）のご案内

事後調査

「投資の日」記念イベントの効果測定として、イベント参加者に対して、イベント参加後の投資行動等に関するアンケート調査を昨年度に引き続き実施し、1,972名から回答がありました。

投資未経験者が実際に投資を始めたこと、投資経験者が新たな金融商品を購入していたこと等から、一定の効果がうかがえました。一方で、投資未経験者が投資行動に至らない理由として、「十分な知識を持ち合わせていないため」等、回答しており、引き続き証券知識の習得に関するセミナー等の普及活動を継続する必要性が確認されました。

2－（５） 刊行物制作

証券知識の普及・啓発を図るため、株式、債券、投資信託に関する投資初心者向けの小冊子等を作成し、有償頒布しています（①～④の刊行物については、個人向けに限り無償頒布）。また、本協会又は証券知識普及プロジェクトが主催するイベントの来場者にも無償頒布しています。

さらに、利用者の利便性向上のため、刊行物の PDF ファイル（全ページ）を本協会ホームページで無料で閲覧できるようにしています。

現在発行している刊行物

刊行物の種類	頒布価格 (税込み)	作成部数 (平成 26 年度)
①「はじめての！資産運用」	@100 円	13,000 部
②「投資道場 証券投資の基本ガイド」	@130 円	16,000 部
③「確定拠出年金入門」	@110 円	5,500 部
④「個人投資家のための証券税制 Q&A 平成 26 年度版」	@50 円	121,000 部
⑤「平成 26 年度改正対応版 証券税制ガイド」	@300 円	11,000 部



電子書籍アプリ「投資道場」

平成 26 年 6 月末、特に若年層を中心に証券・投資に興味をもってもらい、金融リテラシーの向上に資するため、スマートフォン等で利用可能な電子書籍アプリを公開しました（iOS 版、Android 版）。

また、より多くの方（特に証券・投資に関心が低い方）に対して同アプリを知ってもらうため、若年層の身近なツールであるスマートフォン向けの告知を YouTube で始め、同動画コンテンツの拡散を図りました。



◆アプリ画面（iPad）



◆アプリプロモーション（「貝社員」コラボ動画）

2-(6) インターネットによる情報提供

ハマカーンの資産運用劇場

平成26年7月、若年層を主な対象として、6つのチャプター（① 資産運用、② 株式、③ 債券、④ 投資信託、⑤ 確定拠出年金、⑥ NISA）を通じて、資産運用の基本を楽しく学ぶことができる動画を新たに制作し、本協会ホームページに特設サイトを開設しました。



◆特設サイト



◆動画



動画コンテンツ

各種セミナー・イベントの様子を撮影した動画等を本協会ホームページに掲載しました。

①セミナー・イベント風景動画配信

セミナー・イベント	コンテンツ名	内容
教育関係者向けセミナー	「金融経済夏期セミナー」	テーマ:「貧富格差の改善に向けた処方箋を探る」 講 師: 北海学園大学経営学部 教授 菅原 秀幸 氏
		テーマ:「おカネの正体-国際通貨の仕組み ～基軸通貨からBITマネーまで～」 講 師: ソニー銀行(株) 商品企画部長 國津 雅央 氏
		テーマ:「正解はない!?子供に考えさせる授業の進め方」 講 師: 札幌市立平岡中央中学校 教諭 清水 顕史 氏
		テーマ:「企業が農業を変える!6次化産業実現に向けた挑戦」 講 師: (株)パイオニアジャパン 会長 山道 勝則 氏
		テーマ:「地域活性化への新たな取組み ～リニア中央新幹線開通の効果～」 講 師: (公財)中部圏社会経済研究所 代表理事 小林 宏之 氏
		テーマ:「リスクマネー供給における取引所の役割」 講 師: (株)野村総合研究所未来創発センター 主席研究員 大崎 貞和 氏
		テーマ:「尽生経営 ～日本で一番『ありがとう』と言われる葬儀社を目指して～」 講 師: (株)ティア 代表取締役社長 富安 徳久 氏
		テーマ:「学校における金融経済教育の必要性」 講 師: 日本証券業協会 会長 稲野 和利
		テーマ:「金融経済教育を授業に取り入れる際のポイント」 講 師: 九州大学大学院 経済学研究院 教授 川波 洋一 氏

セミナー・イベント	コンテンツ名	内容
大学生向けセミナー	「大学生のための証券・金融セミナー」	テーマ:「そうだったのか！～経済・金融を見る視点～」 講 師: 日本証券経済研究所 主任研究員 若園 智明 氏 テーマ:「覚えておいて欲しい資産運用のポイント」 講 師: ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太 氏
	「大学生・新社会人のためのパーソナルファイナンスセミナー」	テーマ:「ライフプラン・マネープラン・資産運用の基礎知識」 講 師: ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太 氏
一般向けセミナー・イベント	「金融リテラシー習得講座」	テーマ:「NISA を知ろう！NISA を使おう！」 「投資を始めるための心構え、基礎の基礎」 講 師: NPO 法人エイプロシス 証券カウンセラー
	「オトナ女子のマネー美人レッスン～未来のワタシへの投資、ちゃんとできてる？～」	【基礎編】 テーマ:「輝く未来のための“マネーノート”の書き方」 「ライフプランに紐づくマネープランの考え方」 「余裕を作る資産運用の上手な始め方」 出 演: ファイナンシャル・プランナー 山口 京子氏 タレント 福田 萌氏 【実践編】 テーマ:「私にぴったりのマネープランの選び方」 「私だけのポートフォリオの作り方」 出 演: ファイナンシャル・プランナー 山口 京子氏 タレント 福田 萌氏

②学習動画コンテンツ

掲載 Web サイト	コンテンツ名	内容
金融経済ナビ	ほぼ3分間劇場 「熱血！ケーザイ家族!!」	第1話「金融資産とファッションの選び方は同じ？」の巻 第2話「リスクは分散しよう！」の巻 第3話「株主になった！」の巻 第4話「株価はなぜ動く？」の巻 第5話「情報が勝負！」の巻 第6話「決算書は会社の成績表？」の巻 第7話「円高・円安って何？」の巻 第8話「その時 株価は動いた！外国為替と株価」の巻 第9話「金利はなぜ動くの？」の巻 第10話「その時 株価は動いた！金利と株価」の巻 第11話「GDP って何？」の巻 第12話「景気はなぜ変動するの？」の巻 第13話「株価指数って何？」の巻 第14話「福袋とETF は同じ？」の巻 第15話「今の会社に求められているものは？」の巻
Youtube	ハマカーンの資産運用劇場 (通常画質版、高画質版)	第1話 資産運用なんて…と思う前に 第2話 そこが知りたい、株式投資ははじめの一步 第3話 そこが知りたい、債券ってナニ？ 第4話 そこが知りたい、投資信託を始めるには？ 第5話 そこが知りたい、確定拠出年金って必要なの？ 第6話 そこが知りたい、NISA でお得に資産運用
本協会ホームページ	よくわかる証券投資の基礎知識	第1話 証券投資入門 第2話 投資信託入門 第3話 株式投資入門 第4話 債券投資入門

③ゲームコンテンツ

	コンテンツ名	内容
ゲーム	つぶやきシローの人生すごろく	人生で起こりうる様々なイベントごとに、どのようなお金が必要か、必要なお金を準備するために、どのようなライフプラン・マネープランを立てれば良いかを考え、進めていくゲーム。
	クイズ金融経済 de ビンゴ	金融経済知識について、初級・中級・上級に分かれて出題されるクイズに答え、正解しマス揃えていくことを目指すビンゴゲーム。

④その他

	コンテンツ名	内容
その他	【ゆるキャラ】とうしくん PRCM	証券知識普及プロジェクトのマスコットキャラクター「とうしくん」の PR 動画

(平成 27 年 3 月末現在)

3 その他事業

金融・証券教育を推進する関係団体等で、お互いの事業の効率化等を高める観点から、次のような連携事業を実施しました。

「金融経済教育推進会議」における検討への協力

金融経済教育推進会議（事務局：金融広報中央委員会）において検討されている「最低限習得すべき金融リテラシーに関する項目別・年齢別スタンダード」のうち、「資産形成商品」等の項目について、情報提供や意見協力等を行っています。

「社会人のためのマネープランガイド」

これから社会人となる大学生、新社会人、若年層を対象に、ライフプラン・マネープランの重要性や金融商品及び確定拠出年金に関する基本的な知識の習得を図るため、各関係団体が発行する DVD や刊行物を一つに取りまとめたキット「社会人のためのマネープランガイド」を提供しています。

平成 26 年度は計 3,000 部を制作・配布しました。



金融経済の学習に関する Web コンテンツリンク集



各関係団体の金融経済の学習に関する Web コンテンツを利用者別・目的別に区分してリンク集を作成し、本協会ホームページに掲載しています。

◆参加団体

本協会、金融庁、金融広報中央委員会、知るぽると、証券知識普及プロジェクト、東京証券取引所、大阪取引所、投資信託協会、エイプロシス

主要証券会社10社のNISA口座利用状況 (平成27年4月30日現在)



1. N I S A利用状況（平成26年以降の累計ベース）

	平成27年3月31日現在	平成27年4月30日現在	増加	増加割合
1. NISA総口座数	4,296,212口座	4,358,506口座	62,294口座	1.4%
2. 勘定設定口座数※1	4,279,026口座	4,338,365口座	59,339口座 ※2	1.4%
うち稼働口座数※3 (勘定設定口座数に占める割合)	2,120,012口座 (49.5%)	2,190,722口座 (50.5%)	70,710口座	3.3% (1.0ポイント)
3. NISA総買付額※4	20,622億円	22,000億円	1,378億円	6.7%
4. 積立買付契約口座数※5	297,923口座	311,172口座	13,249口座	4.4%
5. 積立総買付額	990億円	1,088億円	98億円	9.9%

※1 各年の利用枠が設定された口座の数

(N I S A総口座数との差異は、金融機関変更等により27年の利用枠が設定されていない口座を除外していることが要因。)

※2 NISA総口座数の増加分との差異は、金融機関変更により27年の利用枠が廃止された口座の分、勘定設定口座数が減少したことが要因。

※3 平成26年又は平成27年の利用枠のいずれかで買付があった口座（稼働口座）の数

※4 平成26年及び平成27年の利用枠での買付け金額の合計

※5 各月末において積立買付契約を結んでいる口座の数

調査対象：主要証券会社10社（大手証券会社5社、インターネット専業証券会社5社）

2. N I S A利用状況（各年の月次ベース）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
26年	勘定設定口座数	2,788,898	3,083,184	3,300,861	3,511,412	3,584,805	3,644,834	3,716,300	3,790,553	3,867,157	3,938,410	3,996,463	4,066,810
	(前月比)		(294,286)	(217,677)	(210,551)	(73,393)	(60,029)	(71,466)	(74,253)	(76,604)	(71,253)	(58,053)	(70,347)
	買付け口座数 ※ 1	389,020	575,147	753,760	868,339	954,972	1,047,907	1,155,524	1,262,403	1,372,302	1,509,767	1,611,198	1,832,745
	(前月比)		(186,127)	(178,613)	(114,579)	(86,633)	(92,935)	(107,617)	(106,879)	(109,899)	(137,465)	(101,431)	(221,547)
	買付額※ 2	2,333	3,482	4,574	5,563	6,220	6,977	7,927	8,867	9,777	11,052	11,955	14,189
	(前月比)		(1,149)	(1,092)	(989)	(657)	(757)	(950)	(940)	(910)	(1,275)	(903)	(2,234)
	平均買付額	599,712	605,410	606,824	640,648	651,328	665,803	686,009	702,391	712,453	732,033	741,994	774,194
27年	勘定設定口座数	4,125,702	4,198,636	4,279,026	4,338,365								
	(前月比)		(72,934)	(80,390)	(59,339)								
	買付け口座数 ※ 3	692,432	939,301	1,186,632	1,329,778								
	(前月比)		(246,869)	(247,331)	(143,146)								
	買付額※ 2	2,627	4,440	6,433	7,811								
	(前月比)		(1,813)	(1,993)	(1,378)								
	平均買付額	379,387	472,692	542,123	587,391								

※ 1 平成26年の利用枠で買付けのあった口座数

※ 2 買付額は億円単位で表示（億円未満四捨五入）

※ 3 平成27年の利用枠で買付けのあった口座数

調査対象：主要証券会社10社（大手証券会社5社、インターネット専業証券会社5社）

**2015 年度 N I S A イメージキャラクターに、
谷花音さん・佐藤隆太さん・平岩紙さん・斎藤洋介さん
の 4 名を起用することを決定しました！**

日本証券業協会では、今年度も引き続き N I S A 及び 2016 年に導入されるジュニア N I S A の普及・促進に向けて取り組んでまいります。

今年度の広報活動では、主に家族単位での資産形成についてご理解を深めていただけるよう、「家族」が N I S A を P R する設定で、父親役に佐藤隆太さん、母親役に平岩紙さん、祖父役に斎藤洋介さん、そして N I S A について教えてくれるちょっと大人びた女の子役に谷花音^{かのん}さんをイメージキャラクターとして起用することを決定しました。

この家族が N I S A をさらに広めます！！

イメージキャラクター



谷花音^{かのん}さん
(娘役)



佐藤隆太さん
(父親役)



平岩紙さん
(母親役)



斎藤洋介さん
(祖父役)

メインキャッチコピー：「みんなにいいさ！N I S A がいいさ！！」

・ N I S A キャッチコピー：「投資にきっかけ！N I S A がいいさ！！」

・ジュニア N I S A キャッチコピー：「子どもに贈ろう！ジュニア N I S A がいいさ！！」

広告展開

- ・ T V C M (平成 27 年秋頃～)
- ・ 新聞広告 (平成 28 年 1 月頃)
- ・ W e b 広告 (平成 27 年 6 月～
(" 11 月～)

証券会社用製作物

- ・ リーフレット、パンフレット
- ・ ポスター
- ・ 店頭用パネル

日本証券業協会ウェブサイトでこの「家族」が N I S A の魅力についてお教えします。(平成 27 年 6 月中旬頃～)

<http://www.jsda.or.jp/nisa/index.html>

◆お問い合わせ先◆